

せんがくず新聞

リコー
DesignCenter



編集・制作: 梅澤朝樹
発行日: 2007年3月21日
第20号



右越え!
タイムリーツーベース!

奥田!!

14対2と打ち込まれた梅澤!
投手力が苦しいせんがくず

初参加! 金久潤平!
2番セカンドで出場!

梅澤が打ち込まれ大量失点!

今シーズン初試合の東芝戦は、絶好の野球日和となった。空は快晴で風も無く、2007年シーズンの出だしとしては申し分ないコンディションであった。

せんがくずの先発は梅澤。普段とは違い、初回は快調な滑り出しだった。先頭打者こそヒットを許すが、後続を落ち着いておさえ、初回は無失点で切り抜けた。レフト奥田、セカンド金久の好プレーもあり、雰囲気の良いスタートとなった。

しかし、2回。先頭打者に二塁打を打たれると、たて続けに出塁を許し、大量失点へとつながった。出塁を許しては盗塁を許し、あつという間に三塁まで進まれるというパターンで、せんがくずは手も足も出なかつた。梅澤は、3回こそ三者凡退におさえたが、その後のイニングは全て失点を許す結果となった。フォアボール5個、デットボール4個という、一人相撲な展開に、せんがくずはペー



試合で唯一の盛り上がり! 奥田の右越えタイムリー!

試合で唯一盛り上がりを見せたのが、奥田の右越えタイムリー二塁打の場面である。2回に5失点をしたせんがくずであったがこの時点ではまだ望みを捨てていなかった。先頭打者の宗像が四球で出塁すると、続く堀口は1フライとなるが、畠山が四球で出塁。続く佐々木監督は三振に倒れて二死三塁で近藤に打順が回る。

ここで近藤は三振に倒れたその時、振り逃げでラッキーな1点目をとる。そして、打順は9番奥田へと回る。奥田は外角真ん中の甘い球を右方向へ叩いた。打球はぐんぐん伸び、ライトの頭上を越えるタイムリー二塁打となった。自身、これまでの打球を飛ばしたのは初めてだと語る。

奥田にタイムリーが出たのが、この試合唯一の収穫だと言えるだろう。今年小学六年となる息子のりゅうじも、この時ばかりは大はしゃぎしていた。



東芝	0	5	0		
リコー	0	2	0	0	0
	2	14			

	打数	安打	打点	盗塁	本塁打
(DH) 吉越	3	1	0	0	0
(四) 金久	3	0	0	0	0
(一) 梅澤	3	0	0	0	0
(二) 宗像	1	0	0	2	0
(八) 堀口	2	0	0	0	0
(九)					
(五) 畠山	1	0	0	1	0
(九) 佐々木	2	0	0	0	0
(DH)					
(三) 近藤	2	1	1	1	0
(七) 奥田	1	1	1	0	0
(六) 比留間	2	0	0	0	0
(八) 鈴正	2	0	0	0	0
		三振	安打	四死球	自責点
(投) 梅澤	5	10	9	13	

初参加! 金久潤平!

1D制作課の金久潤平が初参加となった。助っ人用ユニフォームの背番号9をまとい、セカンドの守備位置についた。

中学まで野球経験のある金久は、初参加といつこともあり緊張はあったが、随所にチームを助けるプレーを見せ、活躍した。残念ながらヒットは出なかつたが、今後も内野の主力選手としての活躍が期待される。

金久の参入により、チームの平均年齢が若くなった。今後、せんがくずは徐々に若手戦力を増強していく予定なのか?

なお、金久と梅澤は、昼休みのキャッチボール、バッティングセンターにより、自主練習をおこなっている。メンバーは随時募集中である。



次回は修善寺合宿!

次回の活動は、3月31日、4月1日にかけておこなわれる修善寺合宿である。今回の反省を練習で修正し、4月7日、22日の試合に活かしていきたい。
やはり草野球は投手力が重要となるので、投手を中心とした守りのチームを目指していきたい。